

主な三田の民話・伝承

No	タイトル	地域	あらすじ	※
1	古木神樹と三千坊（天薬寺と五智如来坐像）	上内神	内神谷のシンボル樹齢700年の古木と、その東に位置する三千坊の由来の話	☆
2	義経の槍立てかけ松	志手原	一ノ谷の合戦に向かう源義経にまつわる話	
3	井沢のたてわら様	井沢	洪水のあと「たて」の中におられた神様の話	☆
4	鬼退治を祈った観音様	下槻瀬	源頼光が大江山の鬼退治の成功を祈った観音様の話	☆
5	地獄からもどった尊恵上人	下槻瀬	閻魔王に呼ばれて地獄に行き、生きかえった尊恵上人の話	☆
6	延命地藏と愛宕灯籠	三田	金心寺の僧が命名したという「延命地藏」の由来	
7	ちりん米集め	三田	村人が交代で、毎日毎朝集めた「ちりん米集め」の様子	
8	香下の一の谷地藏尊	香下	農夫の一の谷某によって祀られたとされる地藏尊の由来	
9	稲引き樽引きの神事	加茂	稲を盗んだ氏神さんと奪い返そうとする村人「稲引き」神さんが謝罪するのが「樽引き」 <small>それそれの神事のお祭り</small>	☆
10	太子さんの湯	広野	改修前の青野川にあった場所にまつわる話	
11	酒滴の大石	藍本	大川瀬の住吉の神が酒滴の神に投げた石にまつわる話	
12	腰痛地藏	大川瀬	かつて田植えの前にたくさんの人がお参りした地藏尊の風景	☆
13	諏訪の小宮	西野上	お礼参りに木の鎌をお供えする由来	
14	小柿の大師堂	小柿	村人の協力で大正八年に創建され、毎月二十一日には参詣者で賑わうという話	
15	石山の地藏さん	藍本	側にある柿をお供えしないで食べると腹痛を起こしたと伝えられる地藏尊の由来	
16	百石踊り	上本庄	一回踊りを奉納すると、百石の米や穀物に値する費用が必要であったことから名付けられた。僧元信の夢告をもとに始められた踊りを奉納して雨乞いをしたという話	☆
17	長坂の五軒茶屋	長坂	街道脇に五軒の茶屋が軒を並べていた。そこで当時の領主山崎氏が鷹狩の途中に休憩したと伝えられる。	◎
18	九鬼家の豆まき	三田	二月三日の節分の夜、九鬼家では主人に向かって「鬼は内、福は内、富は内」と言って豆をまく。	
19	百姓一揆と仲惣左衛門	三輪	下田中出身の仲惣左衛門は、明治二年全国的な冷害のため困窮した農民のために立ち上がった。	☆
20	夫婦岩	日出坂	本庄野尻に通じる道の両側にある大きな二つの岩にまつわる話	☆
21	桃の木峠と笛道	藍本	丸岡氏が藍本を治めていた頃の話	

※◎印は上巻所収の民話 ☆印は下巻所収の民話

No	タイトル	地域	あらすじ	※
22	梅の木峠と二つ池	大川瀬	池を掘って三田藩と篠山藩との境界争いに終止符をうった話	☆
23	棒杭と地蔵	大川瀬	大川瀬と東条の境界にある地蔵尊に伝わる話	☆
24	最明寺時頼と金の鶏	桑原	最明寺時頼が埋めたという金の鶏が、元旦に泣くのを聞くと幸せになるという伝承	
25	大仁王と送りおおかみ	小乙 柿原	見比峠や赤坂峠に現れては人を襲う大仁王や送りおおかみの話	
26	願いの地蔵	鈴鹿	人に会って話しをすると願いがかなわなくなるといわれている地蔵尊に伝わる話	
27	日の谷の封じの塔	波豆川	恐れ谷であった日の谷の奥に慰霊塔を建てると災いがなくなり、魔の谷は日の谷に変わったという話	◎
28	蛇谷八ヶ寺	波豆川	山で仕事をする人が怪我をするのは蛇や仏のたたりだという伝承	
29	判官松又は枝折り松	加茂	一ノ谷に向かう源義経にまつわる話	
30	お菊松	三田	姫路城と同じような井戸にまつわる話	
31	駒丸峠	大川瀬	赤松氏に由来する峠の名前にまつわる話	
32	血をふく柳	加茂	柳を切ろうとしたら鋸屑さえも血の色に染まったという伝承	
33	殿様橋	三田	川除と深田とを結ぶ橋の由来	
34	楠正成の持仏観音	井ノ草	正明寺の秘仏、十一面観音像に伝わる話	◎
35	ごうりん（五輪）さん	大川瀬	大滝の下にある五輪塔のいわれ	
36	鎌足塚と天王の森	藍本	鎌足の墓と伝えられている場所にまつわる話	
37	ドウドウ池と馬のり池	下内神	九鬼のお殿様が代官屋敷を訪れた時にまつわる話	☆
38	尾先白左衛門	小柿	尾先白左衛門とよばれる見比峠の年老いた大きな狐の話	☆
39	吉凶の池	三輪	渦巻きで吉凶を占うことができる池の話	☆
40	次郎兵衛淵の大蛇	井ノ草	次郎兵衛淵にすんでいる誰も寄り付かない程の大蛇の話	☆
41	石割と忠兵衛藪の大入道	宮脇	大入道に化けた狸と若い大工の話	☆
42	虚空蔵山の蛇と白蛇	藍本	虚空蔵山の白蛇にまつわる愉快的な俗謡	☆
43	松林寺谷の化け蛇	下青野 末	松林寺があった谷に現われるという化け蛇の話	☆

No	タイトル	地域	あらすじ	※
44	千丈寺の白狐と白蛇	小野	千丈寺山にすむ白蛇と白狐は登ってきた人をいつも驚かせていたという話	
45	蛇谷のツチノコ	小野	黒川の大きな淵で泳いだり、魚を捕ると主のツチノコが現れるという話	
46	八丁四面は免除地なり	長坂	山崎氏が井ノ草城攻めの時に、接待した茶店の主人に与えた褒美の話	
47	秀吉の槍立松	長坂	秀吉の軍勢が休んだ時、秀吉が槍をたてかけたと伝えられる松の由来	
48	矢が谷の矢合わせ	西相野	矢が谷という地名の由来	
49	血の池	貴志	大原氏と貴志氏が戦った時、貴志氏が傷口を洗ったため池の水が赤くなったという伝承	
50	大人弥五郎 佃清治	貴志	御霊神社に伝わる伝承	
51	札幌の尊徳さん	上内神	札幌のお宮さんにすんでいる白蛇にまつわる話	
52	駒塚山の竜馬神	波豆川	源満仲が大蛇を退治してお礼に竜馬をもらう。後年、死んだ馬を駒塚山に葬ったという話	☆
53	大船山の船着き松とお滝松	波豆川	大船山上まで人々が船でお参りしていたころの名残の松にまつわる話	☆
54	真如一品法親王	福島	青龍寺ゆかりの真如一品法親王にまつわる話	
55	朝夕ひびく鐘の音	池尻	大阪で成功した人が郷里に梵鐘を寄贈した話	
56	行基さんに雨乞い	三輪	隣村と争いがおきるほどの旱魃の時でも行基さんをお願いすれば雨が降るという話	◎
57	焼け山の別名を持つ岩倉山	藍本	山が二度も焼けたことについての伝承	☆
58	かみさんの言うことを聞かないと山が崩れるで	藍本	向山が崩れるのは夫婦喧嘩のせいという話	
59	ええじゃないか踊り	三田	踊りの起源とその様子	
60	左馬介と力持ちの奥方	三田	乱世を生きぬいた左馬介と知恵者の奥方の話	☆
61	高売布神社の神様	酒井	高売布神社の祭神にまつわる話	☆
62	砂盛りとさつき	山田	殿様が長昌寺のさつきを見に行った時の話	☆
63	天狗と力太郎	木器	相撲取りになった太郎と天狗の話	☆
64	大蛇と頭骨	桑原	娘の姿をした大蛇と欣勝寺の高僧の話	☆
65	灘五郷の元となった清水	藍本	酒滴神社の裏山に湧き出る清水が名水であるという話	

No	タイトル	地域	あらすじ	※
66	鎌足と藍の里	藍本	藤原鎌足の所領地であったといわれている藍本に伝わる話	
67	雨乞いの弁財天	貴志	慶安寺横の弁財天堂で行われる雨乞いの様子	☆
68	とじまめのチロリン	貴志	昔々の狸と人間の化かし合いの話	☆
69	三輪の神様	三輪	三輪神社の神様に関する話	☆
70	香下寺の観音	香下	戦火にあった観音像の話	☆
71	羽束の太子堂	香下	聖徳太子の乳母をつとめた人の出自にまつわる話	☆
72	あつ〜くなる阿弥陀	田中	盗まれそうになりあつくなつた阿弥陀像にまつわる話	☆
73	摂津三田のカラス追い	三輪田	あまりにひどいカラスの被害に困った住民のカラス退治の話	
74	草場地蔵	三輪	三輪小学校の西にある地藏尊のいわれ	
75	来迎寺のお稲荷さん	三輪	来迎時の裏山にある稲荷神社由緒	
76	十三べんギリギリ岩	福島	福島大池からの水が作り出した不思議な光景にまつわる話	☆
77	福島は七福神に守られて	福島	福島の地名の由来	
78	動き出す如意輪観音	東野上	人々の願いをかなえるため自ら動く観音像にまつわる話	☆
79	腰痛を治すへいからさん	福島	平唐山に今も残る鳥居にまつわる落武者と住民の話	☆
80	たけばさんと天狗の話	福島	大池川のそばの石に伝わるおばあさんと天狗の話	
81	亀割峠	永沢寺	竜と一緒に天に昇りたかった亀の話	☆
82	古城稲荷	屋敷2区	町民の信仰をあつめて賑わっていた古城稲荷の由来	
83	五大力さん	深田	檜板に描かれた五大力菩薩の由来	
84	大井元の水	三輪	住民の飲料水や酒水にもなっていた枯れずの泉の話	☆
85	ちいしゃの二本の大木	下青野	今も残るニレとサイカチの木にまつわる話	☆
86	扇で招き合い	末東 末西	末東と末西の秋祭りに行われる儀式にまつわる話	☆
87	大舟寺のかやの木	波豆川	境内にある県指定天然記念物のかやの木にまつわる話	☆

No.	タイトル	地域	あらすじ	※
88	弁天さんの山	日出坂	水で苦勞していたころの人々の様子	
89	丁子源蔵の供養等	藍本	三村但馬守と丁子源蔵の決闘にまつわる話	◎
90	山争論に勝った長兵衛さんと日出坂村の結束	日出坂	隣村との境界争いの時に村民が結束して勝訴した話	☆
91	金心寺の仏さん	屋敷町 天神	戦乱の世に村人によって救い出された弥勒仏と三田の地名の由来	◎
92	行基さんと川除・福島大池	川除 福島	「松山の井」と「福島大池」の由来	◎
93	美宇和王と大日堂	小野	中大兄皇子と菟姫の物語	◎
94	白馬空を行く	上本庄	駒宇佐の名前の由来となった白馬童子の話	◎
95	酒滴のお水	藍本	岩辻山の清水が「霊水」と呼ばれるようになった話	◎
96	興福寺の観音さま	木器	源義経の家来、那須与一にかかわる話	◎
97	子授け地蔵	相生町	広畑の小さい地蔵さんが人々に子授け地蔵と呼ばれるようになった話	◎
98	花山院と十二妃の墓	尼寺	花山法皇とお后と十一人の女官の物語	◎
99	通幻禅師と竜のうろこ	永沢寺	墓から生まれたと伝えられる通幻禅師にまつわる話	◎
100	大原のお姫さま	大原	貴志に嫁いだ大原の姫にまつわる話	◎
101	貴志のゴロジロ池とオナギ池	貴志 あかしあ台	二つの大池の名前にまつわる話	◎
102	三つの名前を持つお地蔵さん	上槻瀬	名前が三つあるお地蔵さんの由来	◎
103	平福寺の薬師如来	下田中	千丈山正福寺の薬師如来が長尾山平福寺の本尊になったいきさつ	◎
104	くわばらくわばら欣勝寺	桑原	和尚さんと雷の子供の話	◎
105	茂助じいさんと天狗	下田中	昔からの言い伝えを無視したためにひどいめに合った話	◎
106	青野城の合戦	下青野	青野城主、青野氏と藍岡山城主、山崎氏との戦いの物語	◎
107	末の観音さん	末西	松林寺の観音さんが村のお守り観音になった話	◎
108	小判千枚の守りの塚	藍本	藍本城主の墓が村の守りの塚になった話	◎
109	嫁が淵ものがたり	下井沢	嫁が淵に伝わる二つの物語	◎

No	タイトル	地域	あらすじ	※
110	大磯のおこり地蔵さん	波豆川	難病を治してくれるという地蔵さんに伝わる話	◎
111	迷子になった墓石	三田町	菩提寺にたどりつかなかった墓石の話	◎
112	夜泣き石	貴志	御霊神社の「茶白石」に伝わる話	◎
113	千丈寺山の天狗	乙原	神隠しにあった若者が天狗になったと伝わる話	◎
114	うばが谷の水	藍本	孝行息子と母親の話	◎
115	友さんぎつね	三輪	わんぱく少年のぎつね退治の話	◎
116	日出坂峠のものの言い地蔵	藍本	峠の松の根元にあるお地蔵さんに伝わる話	◎
117	井谷山の天狗岩	東本庄	三人のわんぱく小僧と天狗の話	◎
118	お鶴としじみ貝	藍本	大淵の名前になった親思いの娘の話	◎
119	大坂峠の地蔵さん	木器 波豆川	大坂峠の清水がわいている場所にあるお地蔵さんにまつわる二つの話	◎
120	猫間中納言と母子草	母子	母子の地名の由来	◎
121	おれは鯉のみそ汁吸いに	上本庄	三つの池の鯉たちと釣り人の知恵くらべの話	◎
122	お前は藍の殿さんかえ	藍本	藍岡山城主と明智光秀の戦いにまつわる話	◎
123	いぼころり地蔵	藍本	母と子の供養のために建てたお地蔵さんにまつわる話	◎
124	青野の蛇藍と子吊り松	上青野	三つの大きな淵の一つ、青野の蛇藍にまつわる話	◎
125	ご光のさした万体山	乙原	千丈寺山の観音寺の仏様にまつわる話	◎
126	天へ上るぞ	尼寺	オオサンショウウオのガタロンと村人との交流の話	◎
127	川底から現れた観音さま	大川瀬 大谷	村人が川掃除をしている時に見つかった石観音にまつわる話	◎
128	今寺のお尚さん	大川瀬 加東市秋津	「猫をかん袋につめこんで・・・」という手まり歌にまつわる話	◎
129	穴口城と姫塚	東本庄	羽柴筑前守秀吉と勝谷に城を構えていた穴口佐兵衛尉の戦いの物語	◎
130	松ノ坂の甚五郎ぎつね	長坂	長坂に住んでいたぎつね達の物語	◎
131	風呂ヶ谷のぎつね	下井沢	風呂ヶ谷の地名の由来	◎

No	タイトル	地域	あらすじ	※
132	お諏訪さんと白蛇	西野上	諏訪大明神にまつわる伝説	◎
133	観音辻の金の鶏	池尻	金心寺の西の守りとして建てられた観音堂に伝わる話	◎
134	貴志や深田の灰焼きだんご	深田	貴志や深田に伝わる歌にまつわる話	◎
135	松山弾正と甚五郎	三輪	暴れ者の甚五郎と代官との戦いにまつわる話	◎
136	西方寺の阿弥陀さま	三田町	西方寺の阿弥陀如来にまつわる二つの話	◎
137	五葉温泉	南が丘	「五葉庵」の近くにわいていた清水にまつわる話	◎
138	のんのんさん食べなはれ	南が丘	食べ物がなくなって里へ降りてきたきつねと困った村人の話	◎
139	桑原とキュウリ	桑原	桑原に今も伝わる風習にまつわる話	◎
140	下田中の修行地藏	下田中	辻地藏が「修行地藏」とよばれるようになった話	◎
141	九兵衛のあだうち	桑原	父のあだうちを逃げ侍になった孝行息子の話	◎
142	竜神池の金の鶏	小柿	感応寺のかつての寺宝、金の鶏に伝わる話	◎
143	十倉城異変	十倉	戦国時代にあった十倉城に伝わる話	◎
144	ツク田の北向地藏	波豆川	広照寺の南向きの地藏さんが、いつの間にか北向きになっていた話	◎
145	猪倉峠のつきたぬき	木器	子だくさんの狸と炭焼きの若者の話	◎